

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |               |    |                |
|----------------|---------------|----|----------------|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービスえるふ |    |                |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 2月 19日  |    | ～ 2025年 3月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)        | 12 | (回答者数) 12      |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 2月 19日  |    | ～ 2025年 3月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)        | 6  | (回答者数) 6       |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 26日  |    |                |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること   | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 利用者さんにとって安心な居場所の1つとなっており、通所を<br>楽しみにしている。  | 活動プログラムは固定化しないよう、保育士が1か月の活動表<br>を作成し、その後の会議で内容の最終決定を行っている。ま<br>た、季節の行事やイベントを取り入れ、長期休みや休日利用日<br>などは外出を計画するなどの工夫をしている                | 役割分担なども事前に相談、認識し、共有を図り、スムー<br>ズな支援につなげたい。そして、さらなるチームの連携を図り<br>たい。また、業務終了後の打ち合わせができておらず、振り<br>返りが不十分なことから、さらなる充実を図る観点からもで<br>きる職員で打ち合わせを行い、記録で残し、他職員との共有<br>をはかっていく。 |
| 2 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達<br>の状況や課題について共通理解が持っており、共感的な支援が<br>できている。                                   | 家族の相談に応じ、要望に対し臨機応変に対応し、ご家族の<br>不安の軽減に努めている   | 今後も利用者様に応じて臨機応変の対応を行い、相談や申<br>入れができるよう周知を図り、発信しやすい雰囲気づくりを<br>心がける。また、家族支援として研修や保護者が集うイベン<br>トなどの情報発信を行っていく。必要に応じて保護者やきよ<br>うだいが交流できるよう場所の提供を行い、保護者会につ<br>なげていく。     |
| 3 | 事前に服薬内容や病状の把握を行い、医師の指示に基づき、食<br>物アレルギーのある利用者についても食事提供を行っている。<br>また、医療的ケアのある利用者様にも複数名の看護師で対応を<br>行っている。 | 複数の看護師が勤務しており、1年に1度のフェースシートの<br>聞き取り、指示書、医療的ケア判定スコアの更新で病状の把握<br>をしている。てんかんの発作時や突発的な変化があったときに<br>も迅速に対応できるよう研修を受け、伝達学習なども行ってい<br>る。 | 同様の対応を行って、利用者、保護者様の不安の軽減に努<br>め、看護職員以外の職員も積極的に関わり、観察の仕方や、<br>基本的な対応などの学習を行うことで緊急時など看護職員の<br>指示のもと緊急時もスムーズに対応できるようにしていく。   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                                     | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活<br>動する機会が設けられていない。また、地域の方々との交流が<br>少ない。           | 定期的に地域の他の子どもたちと交流する機会がなく、<br>地域住民の方々が高齢のため行事の声掛けなどが難しい。ま<br>た、感染流行期などは交流のための外出は控えている | 引き続き、長期休みや休日に地域の公共施設やイベントなど<br>への参加で地域の方々との交流を図る。また希望をとり、放<br>課後児童クラブや児童館との交流ができるようにしていく。 |
| 2 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防<br>犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が保護者に周知、説明<br>がされていないことがあった。 | 書面での交付ができていなかった。   | 書面に交付をして改めて説明をしていく。また訓練は引き続<br>き定期的に行っていく。  |
| 3 | 地域の児童発達支援センターとの連携が弱い   | 地域の協議会などへの参加はしており、地域の児童発達支援セ<br>ンターとの交流があるが、支援でのスーパーバイズや助言や研<br>修を受ける機会がない。          | 地域のセンターとの交流を引き続き行い、必要に応じて助言<br>や研修等の情報を求めていきたい。   |